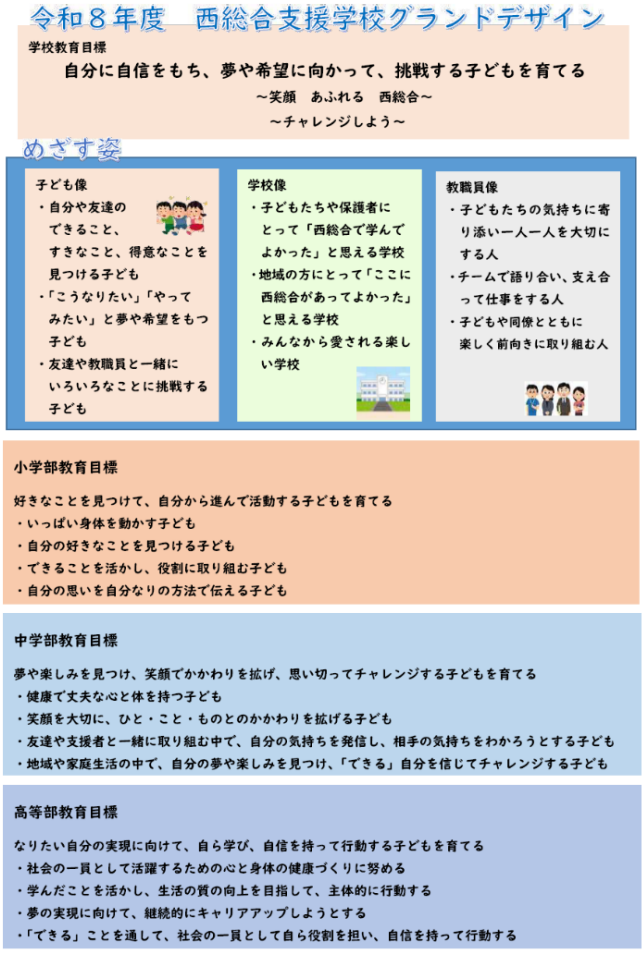
令和８年１０月２９日
京都市立西総合支援学校

令和8年度 京都市立西総合支援学校 学校評価アンケート（前期）分析

＊回答のうち「よくできている」「だいたいできている」の回答を「肯定的回答」と表記し、表中の数字は各項目に対する回答の割合（%）を示しています。回答の割合が90%以上のものはピンク色で着色しています。＊

Ⅰ　保護者・教職員による肯定的回答　【回答率…保護者：80.4%、教職員：99.0%】

	質問項目	保護者	教職員
1	児童生徒が「やってみたい」と思えるような学習活動が行われていますか	90.9	88.9
2	児童生徒は自分のできることや得意なことを見つけて達成していますか	88.7	88.9
3	児童生徒は友達や教職員と一緒にいろいろなことに挑戦していますか	90.9	92.5
4	学校は児童生徒の教育について家庭と連携、協力していますか	94.3	93.5
5	学校は地域と連携した取組を行い、地域との交流を深める努力をしていますか	73.0	88.4
6	学校の取組は、保護者・地域に情報発信されていますか	88.7	94.0
7	学校では体力づくりや健康維持に関する取組が行われていますか	91.7	93.5
8	学校は児童生徒の気持ちに寄り添い、一人一人を大切にしていますか	93.0	95.5
9	児童生徒は学校生活を楽しんでいますか	91.3	95.0





Ⅱ 保護者･教職員の評価項目実現度の比較

（1）「学びの充実」に向けて			よくできている だいたいできている	あまりできていない できていない	わからない
1	児童生徒が「やってみたい」と思えるような学習活動が行われていますか	保護者	90.9	3.0	6.1
		教職員	88.9	4.5	6.5
2	児童生徒は自分のできることや得意なことを見つけて達成していますか	保護者	88.7	7.4	3.9
		教職員	88.9	4.5	6.5
3	児童生徒は友達や教職員と一緒にいろいろなことに挑戦していますか	保護者	90.8	6.1	3.0
		教職員	92.4	2.5	5.0

項目1～3においては保護者･教職員ともに肯定的回答の割合がおよそ90%という結果となりました。これらの項目は「意欲」、「挑戦」、「達成」と、学びの基礎になる項目であるといえます。今後も児童生徒の意欲を高め、友達や教職員とともに段階を踏みながら、新たなことへ挑戦し、そして目標達成へとつなげることができるよう、取り組んでいきます。

「学びの充実」に向けて、どの学部にもいえることですが、指導、支援をより充実させ、やり遂げた達成感を児童生徒が実感できるよう創意工夫に努めていきます。児童生徒が学習や活動の中で達成できた時には大いに褒めたり、喜びあったりすることで児童生徒のわかる形で示していくことも大切です。児童生徒の学習や活動の様子を保護者に丁寧にお知らせすることも心がけていきます。

（2）「家庭や地域との連携」に向けて			よくできている だいたいできている	あまりできていない できていない	わからない
4	学校は児童生徒の教育について家庭と連携、協力していますか	保護者	94.4	3.9	1.7
		教職員	93.5	1.0	5.5
5	学校は地域と連携した取組を行い、地域との交流を深める努力をしていますか	保護者	73.0	8.3	18.7
		教職員	88.5	4.5	7.0
6	学校の取組は、保護者・地域に情報発信されていますか	保護者	88.7	4.8	6.5
		教職員	94.0	2.5	3.5

項目4について、保護者、教職員ともに肯定的回答の割合が90%を超える結果となりました。保護者と教職員が児童生徒の成長を願い、手を携えて取り組むことは何にも代えがたい、大変重要なことです。今後も児童生徒の成長のために連携、協力をより深めていくことができるよう取り組んでいきます。

項目５における「地域」とは学校近隣の地域から、児童生徒の居住地域、広くは社会全体を意味します。学校周辺の地域との連携、交流については、昨年度に続き、今年度前期も活発に行いました。授業の一環として、桂坂地域の方々を藍染めや茶道の講師としてお招きしてご指導いただいたり、演奏や読み聞かせ、紙芝居などを鑑賞させてもらったりしました。桂坂の古墳の森公園の案内もしてもらいました。また、本校において「西マルシェ」を開催し、保護者、地域の方、卒業生や放課後等デイ事業所の方々にもお越しいただき、生徒がワーク製品の販売や飲物のおもてなしをする取組も行いました。希望者が居住地校交流を実施している例もあります。後期は連携、交流の内容の幅をさらに広げ、さまざまな場で人と関わる中で、児童生徒の力が発揮できるよう取り組んでいきます。取組の内容はホームページや学校だよりなどを通じて保護者へも情報発信をしていきます。

(3)「健やかな心身の育成」に向けて			よくできている だいたいできている	あまりできていない できていない	わからない
7	学校では体力づくりや健康維持に関する取組が行われていますか	保護者	91.8	2.6	5.7
		教職員	93.5	2.0	4.5
8	学校は児童生徒の気持ちに寄り添い、一人一人を大切にしていますか	保護者	93.1	3.9	3.0
		教職員	95.5	2.5	2.0
9	児童生徒は学校生活を楽しんでいますか	保護者	91.3	5.2	3.5
		教職員	95.0	1.0	4.0

項目7~9は保護者、教職員ともに3つの項目において肯定的回答の割合が90%以上という結果となりました。

項目7については、個々の児童生徒がそれぞれの課題に応じて体力づくりに努めるとともに、日々の手洗いうがいなどの衛生指導、また、保健室発行の保健だよりや各月の保健目標の掲示物等を活用し、今後も健康指導を推進していきます。

項目８は本校の教職員のめざす姿の筆頭に挙げている項目です。担任を中心とした学部学年による指導や支援を丁寧に行うとともに、養護教諭、看護師、スクールカウンセラーなどの教職員とも連携を取り合い、学校で児童生徒が安心して過ごせるよう今後も取り組んでいきます。

項目９の「児童生徒が学校生活を楽しむ」ということは全ての学校教育における一番の願いです。今後も児童生徒が「明日も友だちや先生と会いたい」「楽しく勉強したい」と思えること、学校が児童生徒の心のよりどころの一つとなることを目指して教職員一同、教育活動に努めていきます。

Ⅳ 児童生徒の評価項目実現度　（回答率･･･児童生徒:59.4%）

児童生徒への学校評価アンケート質問項目		よくできている だいたいできている	あまりできていない できていない	わからない
1	好きなことや得意なことをがんばっていますか	93.6	4.2	2.4
2	新しいことにもチャレンジしていますか	89.4	5.9	4.7
3	できたことを先生や友達に伝えたり発表したりしていますか	83.6	10.0	6.5
4	自分なりの方法で挨拶ができていますか	92.3	4.7	2.9
5	クラスや授業で自分の役割を果たしていますか	88.3	5.9	5.9
6	友達と仲良く過ごしていますか	91.2	4.7	4.1
7	身体を動かす活動に取り組んでいますか	88.2	8.9	2.9
8	困った時、しんどい時などは先生に伝えていますか	82.4	11.1	6.5
9	学校では楽しく過ごしていますか	93.0	4.7	2.4

児童生徒は、GIGA 端末（タブレット端末）や回答用紙を使用して、自分でまたは、指導者とともに回答に取り組みました。全般にわたって、肯定的回答の割合が80%台から90%台となっています。

項目4「自分なりの方法で挨拶ができていますか」に対する評価は、生徒会が毎朝行っている「あいさつ運動」や、クラスや授業における活動の成果であり、また友達との関わりを尋ねた「友達と仲良く過ごしていますか」の評価にも関連していると思われます。

項目5の「クラスや授業で自分の役割を果たしている」は肯定的回答の割合が88.3%でした。クラスや授業の中で役割を担い、果たしているという自己評価ができているということから導かれた結果といえます。クラス、学校、そして、地域へと役割の幅を広げていってほしいと思います。

児童生徒の肯定的回答の割合が高いということは、自己肯定感をもって学校という小さな社会で、楽しんで、がんばって、人と関わって成長しているのだと思われます。今後もさまざまなステップを仲間や指導者と関わり合いながら、自分のペースで前進していってほしいです。